

あおもり教育フェスタの  
発表内容の一部について、  
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおもり教育フェスタ2019

研究員研究発表のご案内 日時：11月15日（金）

※詳細につきましては、フェスタ最終案内または当センターホームページをご覧ください。

教育相談課 研究員 吉田 理



## 小学校4年生の援助要請を育むための指導の研究 —援助要請を育むプログラムの構築・実施を通して—

学校では、楽しい活動がたくさん行われています。しかし、その一方で様々ないじめも存在しています。そこで私は、いじめの未然防止につながる研究をしています。子供たちが、安心して登校できる学校や学級にしたいと考えました。

いじめの未然防止のために注目したのが「**援助要請**」という力です

「**援助要請**」とは…

困った時に  
誰かに助けを求める行動や気持ち

なぜ「**援助要請**」が、いじめの未然防止に有効だと考えたのか

日頃から何か困った事があった時、早めに誰かへ相談したり、助けを求めたりできる人間関係が学級に作られていれば、友達とトラブルが起きても、いじめには発展しにくいのではないかと考えました。

「**援助要請**」が育つと…  
さらにこんないいことがあります！

- ①いじめの深刻化を防ぐ
- ②人助けの良さを感じさせる

北海道教育大学函館校  
本田真大准教授の著書より

「**援助要請**」を育むプログラム(全9時間)

- ①聴き方名人になろう
  - ②話し方名人になろう
  - ③ありがとうの気持ちを伝えよう
  - ④自分の気持ちを伝えよう
  - ⑤友達と楽しく体を動かそう
  - ⑥上手な頼み方を覚えよう
  - ⑦上手な頼み方の練習をしよう
  - ⑧上手な断り方を覚えよう
  - ⑨困っている友だちを助けてあげよう
- ※これらが、実際に行った学習内容です。  
詳細は、フェスタで発表します！

「あおもり教育フェスタ」2日目の特典！

☆研究員と対話をしながら…

- ①学級みんな仲良し！対人関係ゲーム体験！
- ②「ヘルプ！」援助要請ロールプレイ体験！
- ③発表に収まらなかった授業風景をビデオで  
ちょこっと紹介！

# 中学校国語科の文学的文章の学習において、 自立した読みができる生徒を育成する指導法の研究

一型を用いた「問いづくり」と既習を生かした「問いの追究」を通して一



全国学力・学習状況調査では、毎年のように、文章を読んでそれに対する自分の考えを記述させる問題が出題されています。

複数の「正解」が存在する問いに挑んでいけるよう、「自分の考えをもつ力」を高めたいと考えました。それには、身に付けた読みの力を生徒自身が試す場として、生徒一人一人が「問い」をもつことが有効だろうと考えました。そこで、質問・疑問マトリクスを活用した問いづくりを通して、生徒が自分自身の問いを設定し、問いの答えを求めめる中で、既習を生かして読み深める授業を構想しました。なお、数ある文種の中から文学的文章を選んだのは、学び方を明確に生徒へ示してこなかった自分自身の反省からです。

自立した読みとは、自分で着眼点を定めて文章を丁寧に読み、最終的に作品全体に対する**自分の確かな考えをもつこと**です。

生徒からは

「読むことはおもしろい。」

「自分の考えをもち、他者と議論することはおもしろい。」

「付けた力を他にも生かせそうだ。」

という感想が寄せられています。

## 一部を紹介します

### 構想した学習過程 「問いからスタートする読みの学習」

#### ステップ1 問いづくり

：質問・疑問マトリクスでつくったたくさんの問いの中から、自分が追究したい問い（マイベスト）を3つまで選ぶ。

#### ステップ2 問いの追究

：マイベストへの答えとその根拠を用意する。

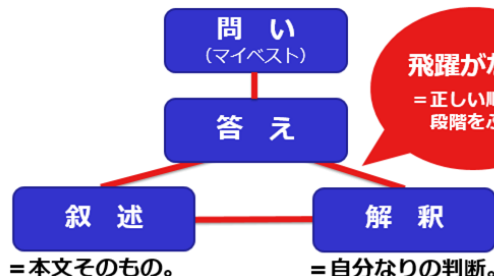
#### ステップ3 考えの形成

：ステップ2までを根拠に自分の考えをレポートにまとめる。

【質問・疑問マトリクス】

読者の視点	登場人物	場面	人	場
①	⑥	⑪	⑬	⑮
②	⑦	⑫	⑭	⑯
③	⑧	⑬	⑰	⑱
④	⑨	⑭	⑱	⑲
⑤	⑩	⑮	⑲	⑲

【問いの追究のイメージ】



内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2019でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2019

令和元年11月15日(金)・16日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994

Center Information  
Aomori Prefectural School Education Center.